

基本構想

平成30年度～平成39年度
(2018年度～2027年度)

11 さいき創生に向けた基本政策

本市は、平成17年3月3日の市町村合併により、九州一の広大な面積を有するまちとして誕生しました。

市町村合併からこれまでの間、人口減少による少子高齢化問題や長期化した経済の低迷など、目まぐるしく変化する社会情勢への対応が求められてきました。

今後も人口減少による少子高齢化は進んでいく傾向にあり、特に生産年齢人口（15歳から64歳）の減少が顕著に現れています。それにより、働き手や子どもを出産・育児をする世代が更に減少していくことが想定されます。あわせて、財政面では、地方交付税の大幅な減額が見込まれるため、厳しい財政運営が予想されます。

第2次佐伯市総合計画においては、自然・生活環境、生活基盤、保健医療福祉、教育文化、産業振興、まちづくり、地域活性化の7つの分野ごとに基本政策を掲げ、少子高齢化対策を始め、本市を取り巻く様々な社会情勢に対応した政策を進めていきます。特に次世代を担う人材の育成や災害対策、本市の特色をいかしたまちづくりなど、各分野を横断する施策に関しては、分野での取組に限定されることなく、全般的に取り組んでいきます。

また、地域活性化分野では、地域の特性をいかしたまちづくりを推進し、地域が輝くまちの創生を図っていきます。

この総合計画は、「今こそ、市民一丸となり、さいき創生の夢を実現させよう」という新たな佐伯市の航海図となるものです。

さいき7つの創生（基本政策）

- 1 豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生 [自然・生活環境]
- 2 暮らしと産業を支える生活基盤の創生 [生活基盤]
- 3 健康で安心して暮らせる共生社会の創生 [保健医療福祉]
- 4 人が学び、人が^い生き、人が育つ教育の創生 [教育文化]
- 5 地域資源をいかした産業と観光の創生 [産業振興]
- 6 人が交流し、活力あふれるまちの創生 [まちづくり]
- 7 地域が輝くまちの創生 [地域活性化]

② さいき創生のまちづくり

「さいき7つの創生」を基本政策として掲げ、さいき創生を推進していきます。

「まちづくりは、人づくり」といわれるように、さいき創生を担う人材の育成は重要です。

本市が抱える様々な課題や社会情勢の変化に対応した本市オリジナルの人材育成プログラムを構築し、「佐伯人（さいきびと）」の育成に取り組みます。

「さいき7つの創生」を政策の柱とし、それらを推進していく「佐伯人」を育成していくことで、『地域が輝く「佐伯がいちばん」の人・まちづくり』を進めていきます。



地域が輝く「佐伯がいちばん」の
人・まちづくり

3 さいき7つの創生（基本政策）の概要

さいき創生を進めるための「さいき7つの創生（基本政策）」の概要は以下のとおりです。主な施策のうち、新たな取組については、「○」を記載しています。

1 豊かな自然環境と安全・安心な生活環境の創生【自然・生活環境】

豊かな自然環境とその美しい景観を次世代に引き継ぐため、人と自然が共生するまちづくりを進めます。あわせて、清潔で安全な生活環境を構築し、市民生活の安定や快適性・利便性の向上を図ります。特に、地震・津波・台風などの自然災害に対しては、地域防災力の高い、災害に強いまち（人）づくりを進めます。

【主な施策】

豊かな自然環境の継承

- ・ 保育間伐の推進など、森林保全の促進
- ・ 河川一斉清掃など、河川保全の促進
- ・ 海岸清掃・漂着ごみの回収など、海洋保全の促進
- ・ 市内一斉清掃など、環境保全の促進
- ・ 希少種、在来種等の生息地域を守り、その保護と環境保全の促進



ユネスコエコパークをいかした自然共生のまちづくり

- 研究者など専門家が調査・研究をするための拠点づくり
- ユネスコエコパークミュージアム、ビジターセンターの整備
- ユネスコエコパークを活用したエコツーリズムの推進

日本一の花のあるまちづくり

- 花を通じて、市民総参加の美しい地域環境づくり運動の推進
- 四季を通して市内外から観賞することのできる花の名所づくり

快適で安定した生活環境の構築

- ・ ごみの減量、再資源化の促進
- ・ 安全な市営住宅の設置及び維持管理
- ・ 城山歴史公園など、都市公園の整備
- 景観形成の促進

災害に強いまち（人）づくり

- ・ 避難地・避難路等の整備や人工高台造成・津波避難タワーの建設
- ・ 防災・行政ラジオ等の整備
- ・ 防災士の育成・スキルアップなど防災教育の充実
- ・ 各種業界等との防災協定による連携強化
- 災害に強い山林・河川の整備・検討
- ・ 消防通信設備の整備・強化及び消防団員の確保

2 暮らしと産業を支える生活基盤の創生【生活基盤】

市民生活を支える水道、下水道、道路・情報インフラなどの整備や公共交通網の再編等を進め、安全で利便性の高い市民生活の確保に努めます。あわせて、中心市街地の整備を進め、人が集う街の実現に取り組みます。

【主な施策】

安全で安定した生活インフラの整備

- ・水道水の安全性保持など、水道事業の推進
- ・快適な生活環境の確保や河川等の水質保全等を図る下水道事業の推進

道路ネットワークの整備

- 東九州自動車道の4車線化促進による域外ネットワークの強化
- 第2浦代トンネル、県道古江丸市尾線等の整備による域内ネットワークの強化
- ・生活環境改善のための道路整備による暮らしのネットワークの強化

高度情報通信ネットワーク社会に対応したまちづくり

- ケーブルテレビ施設の光ケーブル化の促進
- 様々な分野においてICT*利用を可能とする情報通信環境の促進

利便性の高い生活交通体系の構築

- ・民間路線バスとコミュニティバス等を組み合わせた公共交通網の整備
- 自家用有償旅客運送*など、過疎地域における新たな交通手段の検討
- ・日豊本線高速複線化など、鉄道の利便性向上の促進
- ・離島航路の維持・確保と宿毛フェリーの利用促進

中心市街地の活性化

- ・大手前まちづくり交流館（仮称）等の整備及び活用促進
- ・駅前・港地域ウォーターフロントエリアの活性化
- 中心市街地活性化協議会等と連携した中長期的な中心市街地のグランドデザインの策定



3 健康で安心して暮らせる共生社会の創生【保健医療福祉】

地域医療体制の整備や健康づくりの取組を推進します。あわせて、「地域共生社会」の実現に向け、多様な支援ニーズに的確に対応できる体制への転換を進めるほか、市民が世代や背景を超えてつながり、相互に支え合う地域づくりを進めます。

また、保育所の整備や保育士の確保を推進するなど、子育てしやすいまちづくりを目指します。

【主な施策】

地域医療と健康増進の充実

- 医療従事者の確保など、医師会等と連携した地域医療体制の整備促進
- 佐伯准看護学院の移転支援など、人材養成の促進
 - ・へき地における医療体制の維持
 - ・がん検診など各種検診体制の整備や地区組織の育成強化
 - ・自殺予防のためのこころの健康づくりの促進

地域で支える福祉活動の推進

《社会福祉》

- 多様な支援ニーズに的確に対応できる体制への転換
- 住民が世代や背景を超えてつながり、相互に支え合う地域づくりの推進

《障がい福祉》

- 障がいのある人の地域移行の促進
 - ・地域における生活の維持・継続の促進
 - ・スポーツ・文化活動の充実及び就労定着等による社会参加と自立した生活へ向けた支援

《高齢者福祉》

- ・自立支援や重度化防止施策の促進による元気高齢者の増加
- ・在宅医療・介護の連携による高齢者サービスの充実
- ・認知症施策の促進による地域の見守り力の向上
- 民間活力を用いた地域包括支援センターの機能強化



子どもたちが健やかに育つまちづくり

- ・保育所の施設整備や保育士の確保など、子育て世代の負担軽減の推進
- 休日保育や一時預かり事業の拡充等による子育て支援の充実
 - ・各種乳幼児健診などによる母子保健事業の充実
- 婚活活動等に対する支援

4 人が学び、人が活^いき、人が育つ教育の創生 [教育文化]

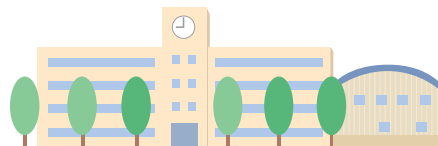
学力向上、体力向上、いじめ・不登校の問題に、重点的かつ継続的に取り組みます。あわせて、学校を核とした「ふるさと創生」の取組を推進します。

また、生活文化の向上や青少年育成、文化芸術等についても、積極的に取り組んでいきます。

【主な施策】

学校教育の充実

- ・学校を核とした「ふるさと創生」の取組など、地域と共にある学校づくりの推進
- ・障がいのある幼児・児童・生徒への支援活動の充実
- ・児童生徒がよりわかる授業の実践・外国語教育の充実・体力向上の推進
- ・スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーや児童相談所等と連携した、いじめ・不登校等の早期解決の推進
- 食育やフッ化物洗口によるむし歯予防の推進
- ・被災地での体験学習など、防災教育の推進



生涯学習の充実

- ・公民館の耐震化、機能充実による使いやすい環境の整備
- ・生涯学習講座を通じたサークルの育成や、人材発掘、成果発表の場の提供
- ・コーディネーショントレーニング*の促進、スポーツ少年団の活動支援など、子どもの運動能力向上の取組
- プロスポーツ選手等と子どもの交流を図るスポーツツーリズムの推進

社会教育の充実

- ・「地域協育」・「地域協働」の推進
- ・家庭教育講座による親同士の共助の機会の増加、親子の会話や親子での読書活動時間増大の促進
- ・未就学の子どもを持つ保護者を対象とした佐伯市オリジナルプログラムでの講座開設の促進
- ・豊かなこころを育むため、自然体験や表現教育などの体験活動の提供促進

市民文化の創造と文化財・伝統文化の継承

- 大手前まちづくり交流館（仮称）を核とした文化芸術活動の促進
- 国民文化祭等を契機とした文化芸術活動の促進
- ・文化財・伝統文化の保存・継承の取組
- ・歴史資料館、平和祈念館、国木田独歩館等での事業の促進

5 地域資源をいかした産業と観光の創生【産業振興】

豊かな自然環境をいかした農林水産業の振興とその素材を活用したさいきブランドの確立に取り組みます。

商工業では、地場産業の活性化と企業誘致の推進に取り組めます。

観光においては、これまでの観光業に農林水産業や造船業等、地域の産業を観光化することで観光産業へ発展させます。

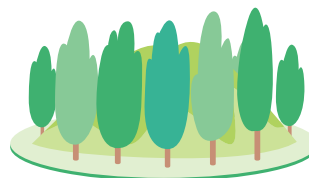
【主な施策】

農業の振興

- ・ ファーマーズスクールや企業参入などによる担い手不足対策や新規就農者等への支援
- ・ 水田農業における農地集積と集落営農組織の拡充
- ・ 園芸農業における共同選果場*の整備、大規模産地の形成、雇用労働力の確保
- 省力化・コスト削減に向けたAI（人工知能）などICT*の活用
- 有機野菜栽培の普及啓発の促進
- ・ 畜産農業における経営規模の拡大と血統的に優れる繁殖雌牛の導入

林業の振興

- ・ 県の研修制度などを活用した担い手の育成や林業技術向上の促進
- ・ 木材や椎茸等の生産コスト削減、林業経営の効率化
- ・ 林道、作業路等の整備促進
- ・ 木造住宅及び公共施設への市産材利用促進



水産業の振興

- ・ 海面・内水面漁業における種苗放流、増殖場等の整備、藻場保全活動等の推進
- ・ 養殖施設の改修等による安全・安心な養殖環境の整備促進
- ・ 赤潮対策の強化及び担い手不足対策の推進
- ・ 水産加工業における施設整備や外国人技能実習生の受入れに対する支援
- ・ 公設卸売市場の環境整備による機能充実

ブランド化・流通の促進

- ・ 量販店等と連携した商品開発の支援
- 水産業を中心とした海外輸出の促進
- ふるさと納税を活用した販売強化
- ホームページ、SNS等を活用した情報発信や通信販売の販路拡大への支援

工業の振興

- ・ 地場企業の連携強化・海外取引の支援
- ・ 工業用地の確保及び環境整備による企業誘致の促進
- ・ 佐伯港女島地区の活用促進と物流の拠点化

商業・サービス業の振興

- ・ 創業セミナーの開催や創業支援策の充実及び空き店舗活用の促進
- ・ 経営研修、経営セミナーを通じた経営力向上の促進
- ・ 県、商工会議所、商工会と連携した中小企業者等への支援
- ・ 高齢者等の買い物弱者に対する移動販売事業への支援

人材育成・確保の推進

- ・ 担い手への研修やセミナーなどの後継者不足対策の促進
 - ・ 異業種間交流等による新たなネットワークを構築する機会の提供
 - ・ 新規就労者（希望者）に対する研修、セミナーの実施による就業者確保の促進
- 働き方改革による女性・高齢者・障がい者の就労機会の拡大



産業教育の促進

- 地場企業の魅力を小・中・高校生、学校、保護者に知ってもらうための体験見学会等や地場企業経営者による講演会の開催
- 農業、林業、水産業にも本取組を広げることによる若者の地元就職率の増加促進

観光産業の振興

- ・ 歴史・文化や地場産業を活用した体験型の周遊観光の推進
- ・ 佐伯産クロマグロ、観光列車、バーベキューなど新たな素材を加えた食観光の充実強化
- ユネスコエコパークや離島などの自然をいかしたエコツーリズムの推進
- 総合運動公園や大手前まちづくり交流館（仮称）を活用した合宿や大会の誘致など、スポーツ・文化ツーリズムの推進
- ・ 他市町村と連携した広域観光の推進
- 台湾、香港、韓国からのインバウンド*の推進及びクルーズ船の誘致
- ・ おもてなし人材の育成やSNSによる情報発信、Wi-Fi環境の整備など、受入環境の充実

佐伯にしかない市民が誇れるイベントの創出

- 市民が誇り、市外・県外からの誘客ができるイベント等の検討

6 人が交流し、活力あふれるまちの創生 [まちづくり]

人権、男女共同参画、市民協働、「食」のまちづくり、移住・定住、国際交流、行政サービス、新たな地域コミュニティの構築等、様々な施策によるまちづくりを推進していきます。

【主な施策】

人権尊重・男女共同参画の推進

- ・人権教育、人権啓発活動の推進及び人権学習講座や指導者養成講座の充実
- ・人権協働ネットワーク協議会等の充実・育成
- 男女共同参画社会を実現するためのワーク・ライフ・バランス*の推進
- ・職業生活における女性の活躍を支える環境づくりの促進

市民協働のまちづくり

- ・NPO法人やボランティア団体などのまちづくり団体等への活動支援
- まちづくり団体等の活動拠点としての大手前まちづくり交流館（仮称）の充実
- ・まちづくり活動に対する意識を高めるための啓発活動や人材育成の推進

「食」のまちづくり

- ・「食」をまちづくりの核と位置付けた「食」のまちづくりの推進
- ・研修会、連携交流会の開催などによる食育の推進及び連携促進
- 大手前まちづくり交流館（仮称）を活動拠点とした食育活動の展開
- オーガニック（有機農業等）や魚食の普及促進など、食育関連産業の活動支援
- ・東九州伊勢えび海道など、食観光の充実
- 東九州バスク化構想*の推進など、自治体の垣根を越えた交流・連携事業の充実
- オリンピック等グローバルな事業に併せた事業の実践

移住・定住の推進

- 移住相談窓口の設置や移住者への居住支援などによる移住促進の強化
- 雇用や企業・事業所情報の提供、子育て支援等の強化などによる定住促進の強化
- 地域おこし協力隊の活用と定住促進

国際交流の推進

- ・姉妹都市等との文化芸術交流などの異文化交流の促進
- ・国際理解教育等の充実
- 地場産業の輸出促進等の経済交流の促進
- インバウンド*観光の推進

市民サービスの充実

- ・自治、防犯等のコミュニティ活動への支援及び交通安全の啓発活動の推進
- コンビニ交付や窓口延長による市の窓口業務の利便性の向上
- ・広報媒体の特性をいかした行政情報の提供

新たな地域コミュニティの構築

- 新たな地域コミュニティ組織づくりの推進
- 新たな地域コミュニティ組織の活動拠点づくりの推進

7 地域が輝くまちの創生【地域活性化】

本市は、平成17年3月3日に1市5町3村が合併し、誕生しました。合併後、行財政改革による行政組織の効率化や財政の縮減等により、各地域における自助・共助・公助の在り方も変化してきました。加えて、人口減少が進む中、各地域では地域の歴史や文化・伝統などの保存・継承も難しい状況となっています。

各地域の自然や歴史・文化・伝統などを次世代に継承し、それぞれの特性をいかしたまちづくりを推進します。

※この基本政策は、新たな政策であるため、個別の施策に「○」は、記載していません。

【主な施策】

人が集い、元気が生まれ広がる、新たなまちへ ～佐伯地域～

- ・ 中心市街地の活性化など、新たなまちの姿を描く「街」（佐伯・鶴岡・佐伯東・渡町台地区）エリアの形成
- ・ 地域資源をいかし次世代につなげる「里」（上堅田・下堅田・木立・青山地区）「浦」（大入島・八幡・西上浦地区）エリアの形成
- ・ 東九州自動車道開通をいかした地域づくり
- ・ 人が集い、安心して楽しく暮らせるためのコミュニティづくり

【重点プロジェクト】 げんき、ひろがる！佐伯プロジェクト

マグロ養殖と花の咲くまち かみうら ～上浦地域～

- ・ 豊後二見ヶ浦などの恵まれた自然環境資源を有効活用した観光振興
- ・ 花の咲く地域づくりとマグロを活用した地域振興
- ・ 道路・公園などの環境美化の促進

【重点プロジェクト】 ・花の咲く上浦づくり ・生本マグロの活用

人もまちも美しい快適居住空間のまち、弥生 ～弥生地域～

- ・ 「道の駅やよい」を中心とした地域産業の活性化と周辺観光整備
- ・ 住んでみたい・住み続けたいと思う美しいまちづくり
- ・ 安全・安心に暮らすための災害に強いまちづくり

【重点プロジェクト】 弥生にぎわいプロジェクト

よし 最高の水あそびを 用意しよう！ ～本匠地域～

- ・ 人と自然が共生した環境の整備
- ・ 地域の特性をいかした特色ある地域産業の推進
- ・ 道路、交通体制、情報システムなどのインフラ整備

【重点プロジェクト】 自然と遊ぶ本匠プロジェクト

ユネスコエコパークを活用した持続可能な地域づくり ～宇目地域～

- ・自然と文化の継承による魅力ある地域づくり
- ・地域の自然をいかした農林産物の販売促進
- ・ユネスコエコパークをいかしたまちづくり

【重点プロジェクト】 ・次世代教育の実施 ・観光地の整備
・ユネスコエコパークの拠点づくり

人と地域がささえあい 安心と活力に満ちた里 直川 ～直川地域～

- ・地域で安心して暮らすための条件整備
- ・防災対策の充実と施設整備
- ・農業後継者の育成及び農地保全
- ・直川製品の生産・販売拡大・利用推進
- ・地域資源を活用した観光産業の推進

【重点プロジェクト】 ・なおかわ安心プロジェクト ・なおかわ活力プロジェクト

海に寄り添い海と生きる、安心快適な鶴見地域 ～鶴見地域～

- ・便利で質の高い生活環境を整備
- ・海を生業なりわいにできるまちづくり
- ・鶴見半島の観光再開発

【重点プロジェクト】 ・地域の拠点づくりプロジェクト
・漁業のまちの未来創生プロジェクト
・鶴見半島来て見て体験プロジェクト

人口増へ！米水津からの情報発信 ～米水津地域～

- ・安心して暮らせる定住の場を確保
- ・移住者やシニア世代など、労働力の確保
- ・第2浦代トンネルの整備要望活動の推進
- ・米水津からの情報発信

【重点プロジェクト】 米水津人口増加プロジェクト

海の恵みを活かすまち蒲江 ～蒲江地域～

- ・地域資源をいかした観光メニューの開発
- ・蒲江ブランドの情報発信と定着
- ・交通インフラの整備促進
- ・閉校後の学校施設を活用した交流拠点づくり及び空き店舗活用
- ・災害に強いまちづくりの促進

【重点プロジェクト】 人を呼び込む蒲江周遊観光プロジェクト